

ドッジビー大会 ルールおよび注意事項

ルール 1 (当日の流れ)

受付で参加費100円を支払い、自分のチームのプラカードがあるところに並んでください。
監督として地区委員 (大人) がつきますので、監督の案内をよく聞いて行動してください。

ルール 2 (目的)

この大会は勝利を目的とせず、スポーツマンシップにのっとり正々堂々試合を楽しみましょう。
負けたチームを笑うなど、人を馬鹿にする行為はやめましょう

ルール 3 (試合形式)

1 試合に参加できる人数は13名 (内野10名、外野：3名) とします。 できなかった選手は次の
試合に必ず出場してください。また、試合中の途中交代はできません。ただし、けが等により
選手が試合続行不能の場合は途中交代を可能とします。試合時間は1 試合 5 分とします。元外野の
選手も相手チームの内野をアウトにしてからではないと、内野に入れません。

例：チーム A (15 人) の場合



ルール 3 (アウトについて)

アウトについてです。内野の選手は、相手チームの選手がノーバウンドで投げたディスクに直接
当たった場合アウトとなります。アウトとなったらすぐに外野に移動してください。 味方に当た
ったディスクがノーバウンドで他の選手に当たった場合もアウトとなります。ただし、味方に当
たったディスクをノーバウンドで味方が (内野・外野問わず) キャッチすることができればアウト
にはなりません。また、相手チームがファールした場合もアウトにはなりません。

ルール 4 (ファールについて)

ファールについてです。ファールをすると、相手チームのディスクになってしまいます。また、相手チームの内野にディスクを当てることができたとしても、ファールをしてしまうと、アウトになりません。主なファールは下の通りになります。

例 1 : オーバーライン (ディスクを投げる時、投げた後、キャッチしたとき)

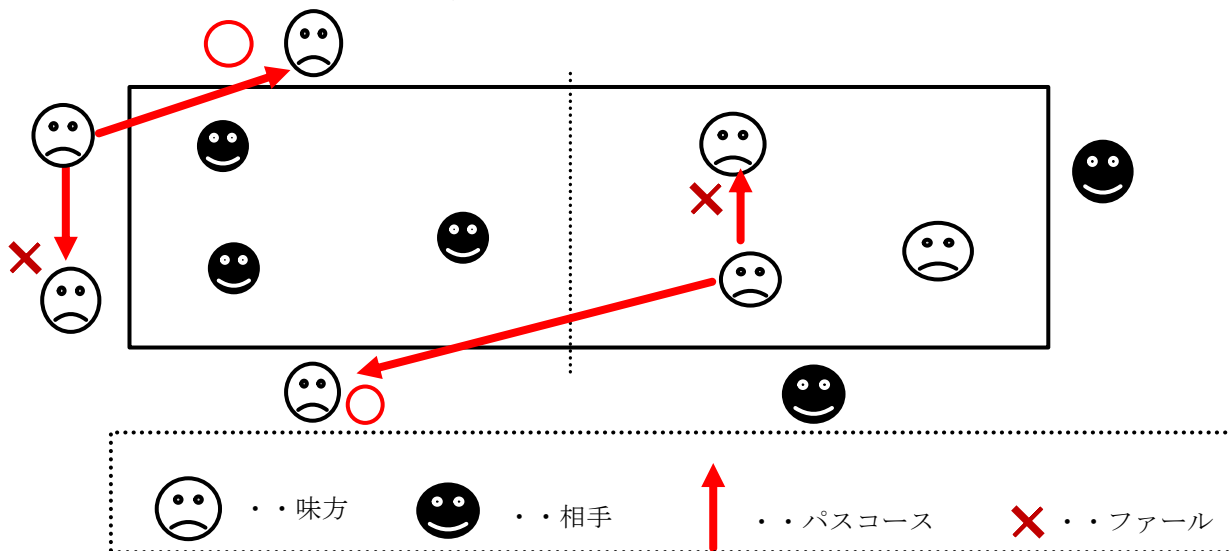
①ラインをこえてしまう



②ラインを踏んでしまう



例 2 : 味方の内野同士でパスした場合、外野手同士のパスが2本のラインをこえていない場合



例 3 : アウトになった内野手が、アウトにされたディスクに触った場合

ルール 5 (投げ方)

ディスクはおもて面を上にして投げなくてはなりません。うら面またはたて方向で投げた場合、相手チームに当ててもアウトになりません。



そのほかのルールは審判の指示に従って、正々堂々と試合を楽しみましょう！